



令和3年（2021年）11月9日

ホストタウン事業

ネリカ米を使ったウガンダ共和国の食糧事情に関する国際理解授業を行います

立科町は、ウガンダ共和国陸上競技、中長距離種目のホストタウンとして、事前合宿の受け入れを行いました。

立科小学校6年2組では、相手国の食糧事情を知り、SDGsに関する理解を深めるため JICA 東京長野デスク国際協力推進員木島史暁さんを講師に迎え、アフリカで栽培されているネリカ米を使った国際理解授業を開催します。

1 日時・場所・概要

日時：令和3年11月12日（金） 午後1時55分から

場所：立科小学校 6年2組教室

内容：ネリカ米、タイ米、コシヒカリを食べ比べ、自分の食事とウガンダの食事の「違い」を発見することで、日本国内の生活とウガンダ国内の生活の違いに関する理解を深める授業を実施します。



併せて、SDGsの目標達成に関する理解を深める授業を行います。

講師：JICA 東京長野デスク 国際交流推進員 木島史暁さん

※2018年10月から2020年3月まで青年海外協力隊（食用作物・稲作栽培担当）としてウガンダ共和国に滞在しました。現地では、稲作の研究と普及を行い、新品種評価試験の調査・管理を担当しました。

2 ネリカ米とは

ネリカ（New Rice for Africa : NERICA）とは、高収量のアジア米と病気や雑草に強いアフリカ米を交配することによって出来上がった品種の総称。アフリカ米センターが、1992年にアジア米とアフリカ米の種間交雑に初めて成功し、現在は水稲60種、陸稲18種が登録されています。日本は、1996年以降 JIRCAS、JICA から研究者、専門家を派遣し、品種開発・普及を支援してきました。

ネリカの特長は、1）生育期間が短く、短い雨季での栽培や、干ばつのリスクを回避できる点、2）耐乾性、耐病性が高く、アフリカ特有の高温で乾燥した気候にも負けない点、3）従来のアフリカ米よりも収量が高い点などが挙げられます。（独立行政法人国際協力機構公式ウェブサイトより）

3 取材申込み

授業当日の取材申込みは、立科町企画課企画情報係（電話 0267-88-8403）へ事前にご連絡ください。



立科町マスコット
キャラクター
しいなちゃん



立科町 企画課 企画情報係

（課長）竹重和明 （担当）大澤隆英

電話：0267-88-8403 FAX：0267-56-2310

E-mail：kikaku@town.tateshina.nagano.jp